

# 【利用例①】：中重度認知症・高次脳機能障害ほか



ここがポイント!!

- 認知症症状が強いが、施設入所はしたくない（自宅で生活したい）
- 家族と同居はしているが、日中一人にするのは心配
- 専門的なりハビリを継続したい
- 小規模多機能を利用しながら利用できる外部サービス例
  - ・訪問看護 ・福祉用具レンタル ・理学療法 ・作業療法 ・言語療法
  - ・訪問マッサージ ほか

## 利用例

### Aさん

性別	女性	年齢	86	要介護度	要介護4	認知度	中度
病名	認知症、脳梗塞後遺症ほか			主な医療対応	なし		
生活環境	次女と同居			医療連携機関	近隣のクリニック		



#### 【利用例】

日	月	火	水	木	金	土
訪問 (昼・夕)	デイサービス + 配食(夕)	デイサービス + 配食(夕)	訪問 (昼・夕)	デイサービス + 配食(夕)	デイサービス + 配食(夕)	訪問 (昼・夕)

- デイサービス：週4回 9：30～16：30
- 訪問サービス：週2回（昼・夕）配食、安否確認、火の元確認ほか
- 配食サービス：毎日（昼・夕飯）デイサービス利用日は、帰りの送迎時にぼやあ樹で準備した夕飯のお弁当を持って帰宅される。自宅で過ごされる日は、昼・夕食をご自宅に届ける。

#### 【ご利用にあたって…】

約7年前に認知症状が見られ、デイサービスを利用開始になるものの介護サービスに強い拒否あり。介助者である次女が介護によるうつ症状が生じたため、デイサービスと配食サービス、また家族の状態に合わせて緊急の泊まりが可能なことからぼやあ樹利用となる。

### Bさん

性別	男性	年齢	68	要介護度	要介護3	認知度	なし
病名	高次脳機能障害 ほか			主な医療対応	デイサービス利用時の服薬の見守り		
生活環境	妻と二人暮らし			医療連携機関	近隣の病院		



#### 【利用例】

日	月	火	水	木	金	土
訪問 (昼)	デイサービス	自宅 (言語療法)	訪問 (昼)	デイサービス	デイサービス	自宅 (言語療法)

- 訪問：週2回 朝食の摂取状態、服薬のチェックおよび昼食と服薬について本人へ確認の声かけ。
- デイサービス：週3回
- 言語療法のリハビリ：週2回（自宅にて）

#### 【ご利用にあたって…】

屋外で歩行中に転倒され、病院へ救急搬送となり、高次脳機能障害および廃用による筋力低下が生じる。リハビリ目的のため転院し、理学療法、作業療法によるリハビリ実施後、退院が可能となる。同居の妻は就労のため、以前のような生活が送れないではないかと不安に思い、ぼやあ樹利用となる。